

地域包括ケア政策の総括から、 共生社会へ向けての展望

一橋大学大学院社会学研究科 猪飼周平教授を迎え、著書「病院の世紀の理論」の要諦を示していただき、どのようなケアが良いケアとして社会的に評価されるかなど、個人の生活的価値(QOL)を実現することを目指すケアへの評価が高まるであろう共生社会への展望について、お話しいただきます。

profile



一橋大学大学院社会学研究科 猪飼 周平教授

94年東京大学経済学部卒業、01年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、同年より佐賀大学経済学部専任講師、准教授、05年1月～翌7月オックスフォード・ブルックス大学客員教授、07年一橋大学大学院社会学研究科准教授就任、13年現職。専門は医療政策、社会政策、社会福祉学、比較医療史。最近の著書に『病院の世紀の理論』（2010年 有斐閣）があり、本書では20世紀を「病院の世紀」と呼び、病院を中核とする医療供給システムが転換を迫られていることを明らかにした。

日時 平成 29 年 11 月 13 日 (月) 18:45 ~

会場 札幌市医師会館 5階 大ホール
(中央区大通西19丁目 011-611-4181)

参加費 参加費無料

申込み 申込み不要・直接会場にお越し下さい

問合せ 札幌市在宅医療協議会事務局(札幌市医師会館内)
(中央区大通西19丁目 011-611-4181)